



【令和3年度スポーツ庁委託事業】

障害者スポーツ推進プロジェクト

「地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業」

成果報告（概要）

2022年4月

一般社団法人 日本障がい者サッカー連盟

# はじめに

東京オリンピック・パラリンピック競技大会が終了し、これまでスポーツを通じた共生社会の実現に向けた機運醸成、障がい者が健常者と同様にスポーツが楽しむための環境整備等が進んできたが、いずれもパラリンピック競技に関わる活動に限り、地域も首都圏が大半を占めている。

サッカー界では、2014年5月15日に公益財団法人日本サッカー協会（以下、JFA）が「JFAグラスルース宣言」を行い、誰もが、いつでも、どこでもサッカーを身近に楽しめる環境を目指し、障がい者サッカーとの連携が始まった。そして、2016年4月に7つの障がいサッカー競技団体\*1（以下、7競技団体）が社員となる一般社団法人日本障がい者サッカー連盟（以下、本連盟）が設立された。\*1=特定非営利活動法人日本アンパティサッカー協会、一般社団法人日本CPサッカー協会、特定非営利活動法人日本ソーシャルフットボール協会、特定非営利活動法人日本知的障がい者サッカー連盟、一般社団法人日本電動車椅子サッカー協会、特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会、一般社団法人日本ろう者サッカー協会

本連盟の活動により、首都圏を中心として、Jリーグクラブとの連携は徐々に進んではいるものの、地域における7競技団体と都道府県サッカー協会やJクラブとの関係構築、地域のスポーツ協会、障がい者スポーツ協会、医療関係者、福祉関係者、学校、行政との連携は不十分で、障がい者が安心・安全にサッカーを楽しめる環境になるには未だ多くの課題が存在している。

これらの課題に取り組むべく、JFAとともに2019年度と2020年度の2年にわたり「障害者スポーツ推進プロジェクト」として「9地域障がい者サッカー連携会議（以下、地域連携会議）」を全国9地域（北海道、東北、関東、北信越、東海、関西、中国、四国、九州）で開催した。この地域連携会議には、7競技団体の地域担当者、7競技団体に登録する全国の障がい者サッカークラブ代表者、都道府県サッカー協会の障がい者サッカー担当者、Jリーグクラブ、Jリーグ百年構想クラブの関係者等が参加した。

2021年度は、前年度に類型化した課題を「人材の育成」と「組織の確立・充実」の方向性から解決を図った。地域特性と競技特性を重視しながら、その課題を持つ地域だけではなく様々な立場の方からの意見やアイデアを収集し、都道府県または地域主導で解決していくことを促した。具体的には、2021年度の進め方に関する方針発表と基本的な障がいや障がい者サッカーの知識についての勉強会を兼ねた「全体会」、共通課題である障がい者サッカーを推進する組織・体制づくり、インクルーシブな場づくり、障がい者サッカーチームづくりや障がいに応じた場づくりについてのナレッジ共有の場として「課題別ワークショップ」を開催した。例年開催してきた連携会議は都道府県サッカー協会（地域が主体の場合は地域サッカー協会）が中心となり各都道府県または地域主導で会議を実施し、各団体が連携した活動計画と実行までを促した。さらに、それらを都道府県または地域からの共有の場として「報告会」を開催し、2021年活動報告と2022年活動計画を発表した。

# 前提となる課題／本事業における取り組み内容

## 課題

東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機にスポーツを通じた共生社会の実現に向けた機運醸成、障がい者が健常者と同様にスポーツが楽しむための環境整備等が進んでいるが、いずれもパラリンピック競技に関わる活動に限り、地域も首都圏が大半を占めており、地域における活動の推進が不十分であること

## 取り組み 内容 (2019年度 ～現在)

### 「9地域障がい者サッカー連携会議」の実施

\*9地域=北海道、東北、関東、北信越、東海、関西、中国、四国、九州

#### 目的① 障がい者サッカーネットワークの構築

地域における障がい者サッカー団体と都道府県サッカー協会やJリーグクラブをはじめとする地域への影響力が強いクラブ等との連携

#### 目的② 地域に応じた障がい者サッカー活動の推進

各地域の状況にあわせた障がい者サッカー活動の創出

- ・指導者講習会の実施
- ・インクルーシブな場づくり
- ・障がい者サッカーチームづくり
- ・様々な活動の場の創出

# 「9地域障がい者サッカー連携会議」の背景とこれまで

2014年 「JFAグラスルーツ宣言」を発表

障がい者サッカーもサッカーファミリーの一員に



JFA

2015年 都道府県サッカー協会内に障がい者サッカー担当者を設置

障がい者サッカー担当者が全国から集まり会議を実施

JFA

地域/都道府県サッカー協会

2016年 ↓ \*日本障がい者サッカー連盟設立

2017年 9地域ごとに障がい者サッカー担当者が集まり、会議を実施

障がい者サッカー7競技団体（日本協会）の担当者も一部参加

JFA

地域/都道府県サッカー協会

2018年 ↓

JIFF

障がい者サッカー7競技団体

2019年 「9地域障がい者サッカー連携会議」を実施

既存参加者に加えて、障がい者サッカー7競技団体に登録する地元の障がい者サッカークラブ、Jリーグクラブ、Jリーグ百年構想クラブ等の関係者等が初参加



JFA

地域/都道府県サッカー協会

JIFF

障がい者サッカー7競技団体

2020年 「9地域障がい者サッカー連携会議」をオンラインで継続実施

オンラインの活用により更なる参加者の増加

Jリーグクラブ/  
百年構想クラブ

障がい者サッカー  
チーム

2021年 「9地域障がい者サッカー連携会議」を地域主導に発展

都道府県サッカー協会主導での連携会議開催へ発展、  
共通課題に応じたワークショップの開催

# 2019-2020年度 取り組み／2021年度 方針

	実施事項	得られた成果
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9地域ごとに分かれ、<b>対面による連携会議の実施</b>（<u>地域単位でのディスカッション</u>含む）</li> <li>・障がい者サッカーチーム向けアンケート調査の実施（132チームが回答）</li> </ul>	<p>「<b>連携機会の創出</b>」と「<b>情報共有の場</b>」となった</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①障がい者サッカー関係者の初顔合わせ（<u>のべ340名参加</u>）</li> <li>②全国の活動状況把握（地域単位）</li> <li>③7つの障がい者サッカーの共通課題抽出</li> </ol>
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9地域ごとに分かれ、<b>オンラインによる連携会議の実施</b>（<u>都道府県単位でのディスカッション</u>含む）</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①障がい者サッカーに携わる方の増加（<u>のべ440名参加</u>）</li> <li>②全国の活動状況把握（都道府県単位）</li> <li>③<b>地域特性および課題の類型化</b></li> </ol>
2021年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・類型化された地域特性および課題を踏まえ、地域差に対する解決のアプローチ</li> <li>・課題解決のナレッジを共有する「<b>課題別ワークショップ</b>」実施</li> <li>・<b>地域（都道府県サッカー協会）主導での連携会議開催</b>に発展</li> </ul>	<p>類型化された課題を「<b>人材の育成</b>」と「<b>組織の充実・発展</b>」から解決を図る</p>



# 2021年度 開催および参加状況

## ●全体会（2021年8月・全4回） 全国からのべ294名が参加

### 第1部 報告・説明会

- ・ 2019～2020年度 報告
- ・ 2021年度 開催概要

### 第2部 勉強会

- ・ 障がいや障がい者サッカーの基本的な知識について



## ●課題別ワークショップ（2021年10月・全3回） 全国からのべ268名が参加

### 第1回

#### 障がい者サッカーを 推進する組織・体制づくり

- 瀬戸脇正勝氏（静岡県サッカー協会／静岡県知的障がい者サッカー連盟）
- 山根卓也氏（鳥取県サッカー協会）
- 金城充氏（沖縄県サッカー協会／沖縄県障がい者サッカー連盟）



### 第2回

#### インクルーシブな場づくり

- 瀬戸脇正勝氏（静岡県サッカー協会／静岡県知的障がい者サッカー連盟）
- 神一世子氏（CPサッカー&ライフ エスペランサ）
- 山本康太（日本障がい者サッカー連盟）



### 第3回

#### 障がい者サッカーチームづくりや 障がいに応じた場づくり

- 瀬戸脇正勝氏（静岡県サッカー協会／静岡県知的障がい者サッカー連盟）
- 前鼻啓史氏（特定非営利活動法人日本アンブレティサッカー協会）
- 鈴木知佳氏（特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会）
- 拝上誠氏（ブラインドサッカーチーム・島根オロチビート浜田）



# 2021年度 開催および参加状況

## ● 報告会（2022年1月・全3回） 全国からのべ132名が参加

### 第1回 報告会

- 【北海道】井上 誠士郎氏（北海道精神障害者スポーツサポーターズクラブ 代表）
- 【茨城県】今橋 寿彦 氏（茨城県サッカー協会 インクルーシブ委員会 技術委員長）
- 【埼玉県】佐藤 雄二 氏（埼玉県サッカー協会／埼玉県障害者スポーツ協会 副会長）  
小沼 航士 氏（大宮アルディージャ クラブビジョン推進室）
- 【福井県】永棹 稔 氏（福井県サッカー協会 グラスルーツ委員長／常務理事 兼 事務局長）
- 【鹿児島県】西 眞一 氏（鹿児島県サッカー協会 常務理事）

### 第2回 報告会

- 【徳島県】岡崎 恵 氏（徳島県サッカー協会 インクルーシブ委員長）
- 【愛媛県・四国】菅 英希 氏（愛媛県サッカー協会 インクルーシブ委員長／四国サッカー協会 インクルーシブ委員）
- 【神奈川県】河野 雅道 氏（神奈川県サッカー協会 専務理事）
- 【石川県】辰巳 義和 氏（石川県サッカー協会 グラスルーツ委員長）
- 【沖縄県】坂本 瑞枝 氏（沖縄県サッカー協会 障がい者サッカー委員長）

### 第3回 報告会

- 【静岡県】徳増 五郎 氏（静岡県サッカー協会 チャレンジド委員長）
- 【富山県】片貝 仁子 氏（富山県サッカー協会 副会長）
- 【岡山県】小玉 京士朗 氏（岡山県サッカー協会 障がい者サッカー担当）
- 【佐賀県】内田 研治 氏（佐賀県サッカー協会 障がい者サッカー委員長）
- 【長崎県】濱本 成一 氏（長崎県サッカー協会 事務局長）
- 【大分県】松尾 卓也 氏（大分県サッカー協会 理事／大分県障がいサッカー協会 会長）

# 成果① 障がい者サッカーを推進する組織や会議体等の増加

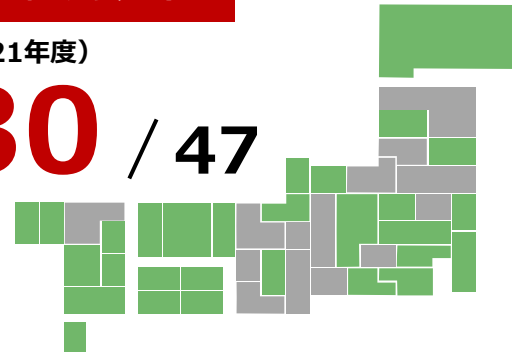
地域	都道府県	都道府県サッカー協会内の組織	担当 理事	都道府県サッカー協会内外の組織
北海道	北海道	チャレンジド委員会		
東北	宮城県	グラスルーツ委員会		
	秋田県	事業委員会が管轄		
関東	茨城県	インクルーシブ委員会		
	栃木県	グラスルーツ委員会		
	群馬県		●	
	埼玉県			埼玉県障がい者サッカーネットワーク協議会
	東京都			東京都インクルーシブ連携会議
	神奈川県	グラスルーツ推進部	●	
北信越	長野県	グラスルーツ委員会		
	富山県	グラスルーツ委員会 / 障がい者サッカー実行委員会		
	石川県	グラスルーツ委員会		FA主導の連携会議
	福井県	グラスルーツ委員会		
東海	静岡県	チャレンジド委員会		
	愛知県			FA主導の障がい者サッカーチーム会議
	岐阜県	技術委員会普及育成部が管轄		
関西	京都府		●	
	兵庫県	障がい者サッカープロジェクト		FA主導の障がい者サッカーチーム会議
中国	鳥取県	技術委員会 普及部会内障がい者サッカー推進ミーティング		
	島根県	障がい者サッカー委員会		
	岡山県			FA主導の連携会議
	広島県	総務委員会が管轄	●	広島県インクルーシブフットボール連盟
	山口県	インクルーシブ委員会		山口県内で障がい者サッカーを統括する連盟設立の動き

## 都道府県単位での組織や会議体

(2020年度)

(2021年度)

21 → 30 / 47



四国	四国	インクルーシブ委員会		
	徳島県	インクルーシブ委員会		
	愛媛県	インクルーシブ委員会		
	高知県	2021年度インクルーシブ委員会 立ち上げ予定		
九州	佐賀県	障がい者サッカー委員会		
	長崎県	きらめき部会		
	熊本県	チャレンジド委員会		
	大分県	パラ委員会		
	宮崎県		●	
	鹿児島県	2022年度インクルーシブ委員会 設置予定	●	インクルーシブフットボール連携会議
	沖縄県	障がい者委員会		沖縄障がい者サッカー連盟

※赤字が2021年度に  
増えた組織や会議体等



## 成果② ネットワークを通じて生まれた活動（主な事例）

### 【中国】岡山県 岡山県サッカー協会より

岡山県障がい者サッカー連携会議を  
きっかけに初の障がい者サッカー  
イベントを開催

2019年度・2020年度の「9地域障がい者  
サッカー連携会議」に参加。翌年から2ヶ  
月に1度、オンラインで岡山県サッカー協  
会、ファジアーノ岡山、県内の障がい者サ  
ッカー関係者らによる「岡山県地域障がい  
者サッカー連携会議」開催に発展し、同会  
議メンバーの他、大学も交えて2021年12  
月にイベントを初開催した。



### 【関東】埼玉県 埼玉県サッカー協会より

埼玉県障がい者サッカーネットワー  
クが発足し、関係者協力のもとWEリ  
グ理念推進日にイベントを実施

2019年度の「9地域障がい者サッカー  
連携会議」を契機に「埼玉県障がい者サ  
ッカーネットワーク」が発足し、月1度オン  
ラインで連携会議を実施。メンバーである大宮  
アルディージャVENTUSの「WE ACTION  
DAY」に県内の障がい者サッカーチームが  
協力し体験会と勉強会を開催し、現役選手  
も多く参加した。



### 【関東】神奈川県 神奈川県サッカー協会より

障がい者サッカー指導者講習会と  
インクルーシブイベントを組み  
合わせて開催

2020年度の「9地域障がい者サッカー  
連携会議」を契機に、神奈川県サッカー協会主  
催のもと、2021年10月に県内の全Jリー  
グ6クラブ、7つの障がい者サッカーチームが  
協力し「インクルーシブフットボールフェ  
スタ」を開催。その準備の一環で、障がい  
理解を深めるため、JFA公認指導者研修会  
[障がい者サッカーコース]を実施した。





サッカーなら、どんな  
障害も超えられる。

<連絡先>

一般社団法人日本障がい者サッカー連盟

03-3818-2030

[jiff\\_info@jfa.or.jp](mailto:jiff_info@jfa.or.jp)

